

諸家系譜

廿二

倍 堀田

庫文官政太			
七	三二六五〇	和	書門
架	函	號	類

庫文閣内			
五	三三三	和	書
函	七	冊	類
一	九	冊	類

内閣文庫	
番號	和 32650
冊數	71 (22)
函號	156 24

共七十一向

共九十五



系譜

Faint vertical text, likely bleed-through from the reverse side of the page.

堀田相模守

春日局

春日局

因... 春日局

一 慶長九甲辰年... 丹精葉刑部少輔通明女

春日局

一 慶長九甲辰年... 右福

家光様御返書... 御返書... 御返書

一 御乳養... 御乳養

一 元和元年... 元和元年

家光様 河内局御書白 為古書
就

上意留春日局 河内局御書白 為古書

右邊 河内局御書白 為古書

權現様上御 河内利家 河内御書白

日月不相知也

一 寛永六己巳年十月十日 上意留春日局

二 保大納公 實條河内局御書白

河内局御書白 河内御書白

由使

中宮 河内局御書白 為古書

神上 河内局御書白 為古書

天願 天益頂戴也

一 同八年 辛未年

秀忠様 河内局御書白 為古書

家光様 御書白

上意為河内局御書白 為古書

河内局御書白 為古書

上意、紙渡院、上院所結

一 月日不相知

一 同元、申年夏後

上意上京仕

東福門院御所、院在江漢史系

内依、沖免継禱之書

天類、天盈、天酌、天裁

一 月日不相知

一 同十二乙亥年蒙

上意、堀田経賢、正盛之男、久左衛門正

後養子、同十八年、春、述政、官中

真生、育、信

一 月日不相知

一 長房、六郎、在、處、屋、浦、信、長、江、邊

一 建具、久、以、善、信、信

一 奉、月、日、不、相、知

一 寛永、十、四、下、丑、奉、九、月、十、日、右、左、衛、門

家、光、様、之、為、成、也

一 於後詔代官可原浦添願上陸川
其九月奉以... 以月奉清也... 庄
迎年病身相減... 高徳也... 織
條... 家光様... 奉以... 庄

年月日不相知也

一 於相列... 内三子... 每奉白銀百貫... 月完... 奉

右之通也

奉以

年月日不相知也

一 於城... 内每奉七月... 秋登... 須云

... 奉以... 庄

一 寛永十七... 奉... 庄

仙洞... 庄

女院... 秋登... 庄

年月日不相知也

一 古... 庄

上使... 奉... 庄

一 同十八年己未九月二日

家綱様御_レ沖表_ニ遊

御_レ御_レ春日乃沖抱_ニ諸家

御_レ見_ニ下

一 同八月六日

家綱様御_レ沖表_ニ御_レ見_ニ出_ル本

御_レ見_ニ下

一 同十九年壬午年正月十日代官所奉_ル

家綱様御_レ見_ニ下

一 同廿亥未未八月春日乃病中代官所奉

同廿日同十三日

家光様御_レ為_ニ成_ル

一 同月十日御_レ見_ニ下

上使酒并御_レ見_ニ下

御_レ見_ニ下

御_レ見_ニ下

上意_ニ

一 同月老白代官所奉_ル

家光様為

一 同月廿九日玄治江平大平至勝正
地回賀右三人病中御請

一 同月晦日

上使中根老致与病氣

御召

一 九月廿日江平町奉下

家光様為

一 同月廿日江平町奉下

家綱様為

一 同日江平町奉下

千代姫君様為

水戸殿教度御為

一 同月十日

上使酒井潜設教松平江平殿病

御召

御召

一 徒

女院御所右馬御所及奉書病歿

御所

同日不測歿

一 同日病中服藥歿之

家光様 御親筆 御書 御歿

一 志實永入 御奉

家光様御病歿御一切御祈奉念

一 生服藥仕間敷旨御祈誓仕奉藥針

矣相用申御達

上関右衛門 御迄今御病一

業仕奉安旨御誓御病一

上意同日十月二十五歳 死去仕候

同日十月廿二日

上使御病後与御祈對馬一

支死 御病御病 御奉御病

下 御病 御病 御病

御病 御病 御病 御病

修其山

一 同奉十月四日湯修藤祥院上位牌下
相建少公家

上意金千兩 弟 重

一 春日乃二位 賜位 修其山

年月 少重

一 同大甲申年九月西忌 長白浪千枚

采之音儀 修其山

一 正保二乙酉年九月西忌 長白浪千枚

枚采之音儀 修其山

修其山

一 慶安二乙丑年九月西忌 長白浪上

百枚采之音儀 修其山

修其山

一 西忌 長白浪 修其山

修其山 澤大 恐多事 修其山

忌 而 采 場 回 修其山 稻 采 修其山

私 執 以 修其山 辭 退 上 送 修其山

高家之法華信

寛永元丁子未秋奉此并御疊

御殿澤順住寺建五法甚而之報恩

山天澤寺の中

一 同十申戌年正月福乘丹後寺心悟死

去法後春日局法名麟祥院と改

加蒙

上意天澤山麟祥院と改

月日不明

一 同年十二月江戸湯島麟祥院と順

百石寺を遷す京妙心寺塔院に改

或百石寺を遷す大塚寺順内麟祥院

建五法

一 寛永十九癸未年九月中宮春日局死去

法名如日女日湯名麟祥院と改

百石寺を遷す江戸湯島麟祥院と改

法名

Faint vertical text, likely bleed-through from the reverse side of the page.

堀河正史紀正盛之會

初代

從五位下備後守

後叙曰昌任侍從

正後

從五位上改後任少將

初名久吉郎

丹波守滑波守忠勝女

寛永十二年乙亥年依

台命春日乃春童子

修好時之威

同八年春述歌

御城真禎生年日

月日不相知

一 同十八年己未八月九日

家綱様上御

御因是

御産殿御危渡

一 同壬寅未年九月廿日

台令稻系每流与正刚女御组

修

一 同辛十一月十九日父心盛浅弟亭下

家光様御城其良蒙

上意時後之御

一 同辛十二月之春母春日局之遺所

之千石相列 右園順

一 慶安二年丑年四月十日

家綱様日光御

御社在伏奉

織法

一 同四年卯年八月十日自父正盛了分記
志方石下編言谷順弟重

一 同年同月十八日誌更只

一 修月滿中子改

一 百治三子年二月十日誌更只

一 修月

一 實文之卷卯年寫月

一 家綱探日光就

一 御社卷依奉相勅

一 同七年卯年六月八日七日若法如增洋順

一 修合或可石

一 修月上列書中

一 修月

一 同十年庚戌年二月廿二日若年奇了改

一 修月

一 同十二年亥年四月七日日光山

一 修月

一 修月御社卷依奉

一 修月

一 延寶元年卯年十二月廿九日午修

増添領都令或百石及千石

一 同七已未未七月十日連判

後身 吉方及千石 沙地増添 添取

三万石 添取

一 同未十二月廿八日 添取

一 同八庚申未五月十八日 添取

家綱様 沙遺物 沙或為 添取 添取

沙地 添取 添取 添取

一 同未八月十八日

一 同未十二月十日

桂昌院様 沙遺物 沙或為 添取 添取

細台様 二九 添取

沙地 添取 添取 添取

裁取 添取 添取 添取

上意

沙地 自沙 揚行 山一文字 添取

上意

一 同未同月十九日 添取

一 河東治長向後

一 河内陣上借奉丁抄勅

一 河内

一 同奉同日會

細古様

河内

往松原光中

天和元 辛酉 三月廿六日

上意 廿五日

河内

日位

上意 宛 宛 宛

一 同奉 廿七日

河内

河内

河内

一 同奉 六月十七日

河内

丁酉丁巳連... 以... 作... 以... 長...

作...

丁酉年六月二日

綱台様御腹明紅葉山

御宮様

御参詣御光...

御廟参詣...

一 同奉同日... 日光山... 沙...

修... 御山中御鞍...

上意時服二十鞍馬...

御臺様

若君様時服十宛...

桂昌院様因立洋燭...

綱台様御御体...

御子自御御腹...

日光山到宿...

御案...

一 同日...

一 御目見申上之御返之書

上意

御目見申上之書 御返之書

一 同奉九月十二日

上意夕登 城上之御返之書

上意

御返之書 御返之書

上意為氏御筆任職均須注意

同奉十二月十一日大老御

御目見申上之書

同奉同月廿九日御返之書

一 同奉同月廿九日御返之書

上意返方不沙加塔洋紙合指可石

御目見申上之書

一 同奉同月廿九日御返之書

上意夕登 城上之御返之書

御目見申上之書 御返之書

御返之書 御返之書

了信

一 同奉九月十三日依

上意又令 城法少机

御覽見申之 御相傳男 以旨

御邊以親 仕其 上御香合 添了信

一 自享元甲子年八月廿八日創疾為

御母以 上使蒙

上意准

一 同奉同日以 死感奉一

一 同月廿九日 御香真白浪 字投以

上使 洋隨 從

御堂樣 同所 字投從

桂昌院樣 同所 十投 母以 了信

一 同奉十月廿七日 德多 了信 遺物

了信

細言樣

御口一腰 圓以

御掛地一幅 定家御業

御堂様下

御屏風一雙 土佐将監筆

桂昌院様下

御巻物一軸 相国将監筆

女子

早世

氏

正仲

延喜下下 流注四男

初名良系 再編系系譜子一前女

一 寛文十二子 年十二月大三日

家綱様口初

御目見下

一 延寶四丙辰 年十二月大三日 往更火

修身下編子改山

一 天和元 辛酉 年十二月十日 高日漏 子信火

修月...

一 同二壬戌年九月十日火正修...

古河...

上意...

一 同年十二月十日...

一 同之癸亥年六月七日...

修月...

一 同年十月廿七日...

一 同寶...

一 同...

一 同...

一 同...

一 同...

一 同...

一 同...

一 同...

一 同...

上意

御旨同信國御禮均如所請

同奉四月二十日妻死云云

上使蒙

御旨

同奉八月廿八日父正後死云云

上使蒙

御旨同奉十月十日父正後死云云

御旨同奉十月十日父正後死云云

五

候更与正虎下或石三曾云云

去言石類通家替分知云云

近高州地田坊清寺正教相續若奉云云

御旨云云

同奉同月廿七日家替

御旨同奉六月廿二日同列山形下

御旨同奉七月十三日同列福原下

御旨

御旨

一 元禄十四年七月廿七日正信娘
屏此一雙抄

一 同七年七月二日病氣分使初之
分知系信信等正信娘家督抄

一 同七年七月廿日死感末二
徒五位下信信等 如左藏部

正信
拾字石内或石分知

後季
拾字石内或石分知高時
地内抄信与正信家

女子
實河村善七娘為養女

女子
實河村善七娘為養女
阿部之庫室後離別
實河村上野分正信娘

正氏

三水

一在德仁甲午年十一月廿八日

家宣様上御

御目見申上之同五乙未年

二月五日死

正亮

左源次

後正亮養為次男

女子

早世

正徳

改次郎早世

正代

正亮

後正亮下御

後叙正亮

實亮示上之復次男

幼名藤平

丹和系義隆子正則女

一 延寶之乙卯年五月十八日

家綱様御記

御目見申上之儀

一 天和元年酉年六月朔日申奥山麓迄

迄有同奉十二月十日菊台迄

迄有能唐同

御目見申上之儀

一 同三戌年十二月廿七日迄

迄有能唐同

一 貞享元年申子年十月十日父正後分知

武可石野村大宮氏弟面

同辛酉月廿七日分知沙記中

元祿之庚午年雪堂上幕五張初

月日石知

一 同七申戌年八月晦日兄正仲嫡子

通加家お嬢女迄有拾百石

迄有海之父正後分知武可石

宮氏弟面

一 同奉九月十六日相續

一 同十二庚辰年正月十六日羽列山形所

一 皆被

一 實永六己丑年十月七日

一 常憲院様御書

一 同七庚辰年二月廿六日相列馬入川渡

一 相勅

一 同奉十二月十八日

一 叙

一 正徳之癸巳年四月十日

一 文昭院様御書

一 享保己亥年二月十四日同書

一 嫡男

一 通

一 同八癸卯年四月十五日

一 駭勅

一 若

一 同十二丙申年十月七日

修牙山

- 一 同奉十一月廿二日養子播磨守正直嫡男
- 一 内記正春系嫡孫兼祖領通事 修牙
- 一 同奉十二月朔吳坂是清惟子有至傳系
- 一 長子 御河津島時政干法成三日月
- 一 二日江戸後足信
- 一 同十四日酉奉二月廿二日幣別島山驛
- 一 入死蔵之字八

正興

織部早也

某

千次郎早也

女子

若狭大和守盛重室後孫
実通南豊守正休嫡孫

正村

市十郎早也

正

正
正
正

正

正
正
正

一
寶永六己丑年四月廿八日

綱
台
様
初

御
見
上
下

一
同
奉
十
二
月
六
日
清
方
更
改

修
有
指
修
字
改
正

一
享
保
二
年
西
曆
八
月
九
日
死
歳
二
十
九

正

正
正
正

正

正
正
正

氏

正春

内記

實正直、曾父幼而信、内物病死、祖父正虎、嫡孫兼祖

母家女

一 享保十三、申年十一月廿六日、正虎身歿

嫡孫兼祖、後身歿

一 同十四日酉年二月十八日、祖父正虎、通遺依拾、石石、後身歿

一 同月同日、祖父正虎、通遺、曾父、後身歿

一 正亮、新田、分知三子、石石、後身歿

一 同月、女、日家、後身歿

一 同十六、辛亥年二月廿七日、病氣、分、後身歿

一 正亮、下家、後身歿

一 同、同月、九日、死、歲十七

一 女子

女子 早世

五代

正亮

從二位下相摸。後叙京任侍從

實地回水長男 初在右源治

丹家女

享保四己亥年二月廿日伯父任官正亮

頼通養次男也 治承元年

同十己酉年三月十八日任官正亮

頼通新田之子也分知家令也 治承元年

同承和月廿八日分知 御侍中

同十六年亥年三月十三日同記心春嫡子

云出有子頼通也家拾子右相續

治承元年

同承和月十六日相續 出礼中

同廿女命新田分知三女右源治

同承和月廿三日記心也 治承相摸改

元文二年己未年三月廿一日見少吉

大猷院様御靈屋

御祭式
修月

寛保元年酉洋宮十月三日遷葬者火

修月

同年十一月廿七日増上席正定嫡子孫通

修月

同二年正月七日朔日奉社高加波致

修月

同三年亥年七月廿五日

天眞院様三回御忌御法會御用儀

修月

延享元年丙子年十月朔日大坂御城儀修

同二年丙子年七月朔日大坂御城儀修

備前御城御馬時辰二十日修

修月

同三年丑年二月十二日嫡子増上席正定元

安月以奉書書家 御祭式

同年七月廿九日次男幸次郎正益嫡子

預通

修月

一 同奉宣月十六日迄

五十宮様繪進奉願書結

一 同奉九月廿八日老中上御書 迄

一 同奉十一月朔日御奉書 迄

一 同奉十一月朔日

大御院様百四御忌御法會奉願書

迄 同奉十一月廿七日迄

御旨自法御進奉御願書迄

御島時辰十時迄 日光山到以奉書迄

御旨見申上奉書

上意時辰十時迄

同奉六月廿五日迄

御旨御進奉御願書迄

同奉十月朔日御旨御進奉御願書迄

寶曆元年未奉御旨御進奉御願書迄

同奉十月朔日迄

御旨御進奉御願書迄

御旨御進奉御願書迄

一 同奉七月十日
 有德院様御遺物清拭付済候事
 一 同奉同月廿二日
 西尾沙路岩綿出用
 相勤付時辰十時候事
 一 同二之申奉同月廿九日
 有德院様御遺物清拭付済候事
 一 同三之申奉同月十四日正
 延宮 月日光山 法服等事
 御子同法加羅洋紙 同月十一日

右御用相勤付青江殿候御遺物
 一 同奉同月十五日右御用相勤付
 御遺物清拭付済候事
 上意 御子同法加羅洋紙
 一 同奉十月十七日 御子同法加羅洋紙
 預通退身事 御子同法加羅洋紙
 一 同奉同月廿二日 御子同法加羅洋紙
 御遺物清拭付済候事

一 同治甲戌年三月十日晝死

上使蒙 御尋以

一 同治十一年二月二日

家治様御婚後御用儀相勤

御旨自備前夜光 御口頂戴

家治様時服十從

御着中様紅白羽之重丸足

一 同治丙子年二月廿一日

御着中様御胎胎之志用儀

御用相勤之時服十從

家治様時服六從

御着中様卷為十御着時服

一 同治七月廿七日

千代姫君様御宮系

御三書

上意

一 同治甲子一月廿日

千代治君様少王社就 御宮系正亮

一 浙之宗... 綿字... 網一...
 一 沙手... 二相... 浙... 卷... 網... 婦子
 一 法... 網... 實... 娘... 人
 一 子... 網... 完... 結... 狀
 一 十... 浙... 網... 卷... 實... 娘... 人
 一 卷... 十... 網... 實... 娘... 人
 一 一... 完... 好... 結... 狀

一 同... 浙... 網... 卷... 實... 娘... 人
 一 家... 重... 採... 時... 後... 十... 條
 一 家... 治... 採... 同... 十... 五... 條
 一 一... 同... 凡... 已... 外... 奉... 九... 月... 十... 五... 日... 二... 卷... 必... 當... 採... 實... 狀
 一 一... 同... 奉... 十... 二... 月... 十... 日... 必... 當... 採... 實... 狀

上意 御子自青豆直次 御子直次 結

一同奉口月女九日 御移符御用書勅書象

上意 御子自之系 御子直次 結

家重様蒙

上意 御子自備在象 御子直次 結

一同奉六月二日從

家重様蒙

上意 御隱居 御子直次 結

御子直次

一同奉十一月朔 御子直次 結

一同奉十一月巳奉口月女六日病其 御子直次 結

以奉書蒙 御子直次

一同奉口月女九日 御子直次

大御前様松平右衛門左衛門 御子直次 結

一同奉二月二日 御子直次 結

御子直次 結

一同奉口月女九日 御子直次

御子直次 結

一 同月吉日 御尋以

上使御者一程以御之

一 同月吉日 御

大御所様松平右衛門大史殿以奉公蒙出御

一 同月八日 死蔵五十一

一 同月十日 以上使御者真白浪子救母以

從

家重様以上使御者真白浪子救母以

御臺様以 御使御者真白浪子救母以

女子 柳屋左衛門政一室

女子 戸田宗女正氏室

女子 早世

正定 堀五郎早世

女子

松平之殿以忠池宮後離別

某

氏之節早世

某

某之節早世

女子

於多養後子助之室

正泰

養節初病身退身

某

長助早世

疾

正順

從其下相擢 後叙宗

切名法多 丹家女

一 寶曆十一年己未三月廿日父正亮預葬

通道依拾音石弟為之杖

修月

一 同奉宣月十日

家治様於 御座面切

御日地

上意畢於 御書院家督

一 同奉十二月十八日

一 同十二月二十日

一 同十二月二十五日

一 同十二月三十日

一 同奉九月朔日

家基様

一 同奉十二月十六日

一 同奉十二月廿一日

一 同奉十二月廿六日

一 同奉十二月三十一日

一 同奉正月五日

一 同奉正月十日

在... 治... 望... 石... 後... 言... 勳... 自

同... 庚... 辛... 二月... 朔... 日... 為... 國... 宿... 城... 法... 取... 德... 統

止... 右... 城... 為... 以... 法... 德... 立... 之... 高... 年... 進... 大... 乃... 為

相... 城... 因... 甲... 子... 日... 修... 取... 中... 日

為... 永... 三... 甲... 午... 年... 二... 月... 十... 日... 建... 築... 後... 修... 治... 有... 日

同... 年... 八... 月... 十... 二... 日... 中... 統... 國... 國... 宿... 城... 以... 世... 世... 當... 下

治... 有... 日... 年... 十... 月... 七... 日... 在

為... 以... 渡... 與... 津... 京... 完... 回... 任... 職... 相... 領... 出... 雲... 云... 日

川... 渡... 山

一... 天... 明... 元... 辛... 丑... 年... 七... 月... 朔... 日

家... 藤... 樣... 口... 初... 日... 御... 國... 院... 中... 乙... 未... 日

一... 同... 三... 癸... 卯... 年... 七... 月... 廿... 八... 日... 皇... 社... 所... 敷... 修... 築

一... 同... 治... 甲... 辰... 年... 十... 月... 廿... 九... 日... 皇... 社... 所... 敷... 修... 築

考... 恭... 院... 樣... 七... 面... 御... 忌... 御... 法... 會... 御... 用... 城... 日

一... 治... 有... 之... 日... 年... 十... 二... 月... 廿... 七... 日... 皇... 社... 所... 敷... 修... 築

一... 賴... 統... 所... 同... 為... 己... 未... 年... 正... 月... 二... 日... 右... 御... 用... 城

御免

一 同六 丙午年九月十日

家治様 御新義 御法念 御用掛

御旨 右 御用掛 御旨 蒙

上意時 腹 丑 洋願 御旨

一 同年十二月廿六日 御旨 御旨 御旨

御旨 御旨 御旨

一 同七 丁未年四月十九日 御旨 御旨

御旨 御旨

一 同年七月廿三日

後明院様 御靈 御銅 御燈籠 御旨

一 同来八月廿五日 御旨 御旨 御旨

御旨 御旨 御旨 御旨

女子

大久保 御旨 御旨

正通

喜久松 御旨

女子

初产向澄路子氏養室未婚離引
後月部養子詮夜嫁

女子

如系出攝子道揚室未婚道揚死云

某

辰三郎

女子

上回長門寺義篤室

女子

横岗记知明室

正時ニサトキ

徳次郎

女子

依河右京太史義徳室

甲申

女子

早世

女子

右之通河原屋上

下総國下野國

藤下總屋

高拾二万石

相模國常陸國

之角

本國尾張

武藏國杉原國

生國武藏

堀田相模

河内國美作國

歲年六

寛政二庚戌年七月

正順

寛政三戌年正月

日本書紀

高宗天皇
御宇
日本書紀

下卷四十七回

寛政三戌年正月

系譜内清山系

国史館藏

新田公家

天保三癸亥年

正月廿五日

初代

一 正波

儀事

天和三癸亥年因正月病氣初發以

上使蒙 御尋

一 正亮

相換

室屬之帝幸六月病氣初發以

度蒙 御尋

大納言保長秋元假馬以書家御尋

六次

一 心順

大藏書

室曆十二年己未四月大日家督光

一 滿家五子人 御覽見 公行

六

十次家 御覽

天曆二年庚辰年 御覽見 御覽見

一 次

御覽

一 次

實政二成奉 皇出後

系譜書 繼

六代
宿

後叙信相撰

後叙信相撰

大藏左衛門

知名法苑

母家女

- 一 天明七丁未願分給赤野園内能坂
- 一 宝永山内智名寺前石田口年丙
- 一 十三日指園中野園願分上知
- 一 為代知津園内野園内名
- 一 寶政信子未八月十九日申連存以

宿
 後叙信相撰
 大藏左衛門
 知名法苑
 母家女
 天明七丁未願分給赤野園内能坂
 宝永山内智名寺前石田口年丙
 十三日指園中野園願分上知
 為代知津園内野園内名
 寶政信子未八月十九日申連存以

一 京班司司代... 仙洞... 爲光... 出使...
 一 同奉... 仙洞... 爲光... 出使...
 一 同奉... 仙洞... 爲光... 出使...
 一 同奉... 仙洞... 爲光... 出使...
 一 同奉... 仙洞... 爲光... 出使...

一 仙洞... 爲光... 出使...
 一 仙洞... 爲光... 出使...
 一 仙洞... 爲光... 出使...
 一 仙洞... 爲光... 出使...
 一 仙洞... 爲光... 出使...

仙洞

御覽
御覽
御覽

女院
御覽
御覽

一日奉
御覽
御覽

御覽

院
御覽
御覽

御覽
御覽
御覽

仙洞
御覽
御覽

一日奉
御覽
御覽

御覽
御覽
御覽

御覽
御覽
御覽

御覽
御覽
御覽

御覽
御覽
御覽

御覽
御覽
御覽

御覽
御覽
御覽

御覽
御覽
御覽

御覽
御覽
御覽

御覽
御覽
御覽

一 宣政五年正月... 内侍... 御免... 万石...

一 同奉

君官洛波... 九月...

禁裏細... 以...

一 同奉十月十日

禁裏... 内...

禁裏... 内...

一 寛政六... 宣...

真祥... 内...

於賢... 内...

一 同奉

一 同奉二月十日

白... 内...

禁裏... 内...

一 同奉二月十日

白... 内...

以月出中連石以奉書象

一 日奉入

一 日奉入

准后御言二月廿二日

一 同奉二月朔

女院^上住 御言^下御言^上御言^下

御言^上御言^下御言^上御言^下

御言^上御言^下御言^上御言^下

一 在道滿家奉衣衣素袍

一 同奉同月入 日相御言

准后御言^下使^上御言^下御言^上

昆布一箱御言^下御言^上

一 同奉同月十日之后入

御言^上御言^下

院^上御言^下御言^上御言^下

御言^上御言^下御言^上御言^下

一 在御言^下御言^上御言^下御言^上

御言^上御言^下

一 因奉口月十日
 中宮御方 之后御禮衣以波綿三平抱
 于綯一袋昆布一袋御禮衣以裁一袋
 一 日奉
 中宮入 口 之后御禮衣 御禮衣波綿
 一 大及武於左備物上京口月十九日侍系
 口 院衣法如將
 御禮天蓋以裁一袋
 仙洞衣 御禮衣法如將 御禮衣裁一袋

一 因奉口月十日
 御禮天蓋以裁一袋
 之后御禮衣綸子二色以裁一袋
 仙洞衣 御禮衣法如將 御禮衣裁一袋
 口 院衣法如將
 之后御禮衣編緬二色以裁一袋
 女院衣法如將
 之后御禮衣紗綾二色以裁一袋

中官書目以月編通之卷昆布一各編

一各河橋一各以類以終

一月年三月十八日為 正系 日江發

禮願真河合製一腰河書度以裁河造三

送山名月別院九平史記再端之定

頂戴

一月年六月十六

中官河月河說有以河度綱以裁終

一月年七月十九

推恩院之十二面下高月渡

仙洞漸經陸少江 院兼經以河經

陸平 上河料理以類以終

一月年十月十六日

仙洞漸度陸少江 院兼法以類以終

河名在河草少河以內出酒類以類

河名在河草少河以內出酒類以類

一類紗後之卷以類以終

一月年各卷以類以終

楚襄沛亦言沛惟矣 樂室月是日采

心院至任以將

初類天區乃裁采之沛料理以裁之

係學均治一若編通十卷已以類歌

仙洞系 沛因見矣 係身 沛道頂裁

一 早与萬酒頂裁考之沛神書一若編通

十卷以類

女院 沛系 系上沛以凡十頁記沛十把以裁歌

中宮系自撰歌二若考十把到後沛系及以類沛

一 門系以凡共七方系府法行十二月期豐後

儼山礼 系侍從 出礼中上之

一 系府法行在通門初上法

公守様 沛交卷一若沛觀名一西沛條

二十節

若君様 沛扇子一若送沛馬一

沛基保 沛皇紙卷一沛

一 寬政七乙卯年三月廿八日京邸 沛

沛系沛以裁沛 沛系沛以裁沛 沛系沛以裁沛

抄送

若君様存御時裁時腹丹持候事

一 日奉八月廿六日京信付奉

院系信紙持

禮類天魚頂裁紙

仙洞御 御見事 御見事 御見事 御見事

一 日奉十月八日実母死云云内付高次

御見事 御見事 御見事 御見事

一 寛政八丙辰年

御見事 御見事 御見事 御見事

御見事

御見事 御見事 御見事 御見事

禮類天魚頂裁紙子二摺不裁紙

仙洞御 御見事 御見事 御見事 御見事

二 丙辰年

一 日奉十二月廿六日

仙洞御 御見事 御見事 御見事 御見事

御見事 御見事 御見事 御見事

一 寛政丁巳年四月廿日御上六藏補改

一 同年 御上六藏補改

廿八日奉 院系結品洋

糖類天藍以裁紗綾十色以裁了於

仙洞前 御上見矣 院系 御上頂裁

縮緬又老頂裁了於

中宮前 紗綾二色以裁了於

一 同年純

長君様 御上見

御上様御叙位 御使源在處尉中條

山城守横河守上京前月朔

同侍系 院系結品拜

糖類天藍以裁了於

仙洞前 御上見矣 院系 御上頂裁了於

一 同年六月廿日奉 院系 御上頂裁了於

山城守横河守同侍系 院系結品拜

上御料理以裁了於

一 日奉九月廿五日

仙洞

禁裏上戸一州傳授抄

仙洞一州傳授抄

一 日奉十月廿七日

禁裏上戸一州傳授抄

仙洞

一 寛政十一年三月廿五日

相勅少省宿願以美父

一 同奉十月廿五日

仙洞一州傳授抄

仙洞

仙洞

一 同奉十月廿五日

仙洞

禁裏上戸一州傳授抄

仙洞一州傳授抄

中文十卷抄

一 日奉九月十二日病勢日甚屢求改取中
病病身却彼 冲寒感風延病老年
夜不眠食各甚居心永在生丁信
終身山

一 日奉十二月三日病勢危以口屢求改
冲寒感風再延病身日增之
賴通涉彼 冲寒感風常然之方
火 後身立動中界於心動也
養榮之仕多矣 上意

一 同奉十二月廿六日抄清國河河國美德去
肉之冲之替身五合為國如國
由以冲病身之方

女子 有馬上能外海於陽室

正切 淚其後下相摺 知石湯藥師

寛政七乙卯年正月七日 瑞子法御下
 一回九丁巳年二月廿八日
 家齊様上初
 御目見下
 一月年十二月十日 徳更火 後月終終
 末 毎次第 甲也

右通所存上

高拾二万石

水瀨園 小野園
 常陸園 鹿島園
 相模園 出雲園

内

尾原 堀田 藏六 棟
 藤下 徳次 倉
 嵐亭六

寛政十二庚申年二月

正順
 五

寛政二百年
...

...

春日局

寛政二百年

東譜内死生葬地其外取調帳西

...

春日局

左福

新藤内藏助友京利之女

丹福兼刑部少輔能通明女

天正七年己卯奉生

同日奉生

寛永六年癸亥

九月廿一日死于氏別口府菜三湯治天保

解祥院法石麟祥院比測不義死

堀田相賀守紀正盛之男

一級

御内

初八日南無宗氏 安永七年

幕後同列

舊後田之字

春日宮

初

正後

德宗

丹波并津波子深志勝女

室指多美津宮親知御女

寛永十一年申戌年十一月十二日生三長御江府

貞享元年甲子年八月廿八日死于江府葬于上野

寺子院同二乙丑年十二月十九日封御子

正沖後善清多人藏寺法名詮院又封善清

女子

右久

丹波氏
少子明

百治之已亥年正月十九日死于武列江府
四聖年正月葬于湯内解院法在在教
法權

正仲

少子

丹波氏中流与如列女

室和年伊豫守源酒政女

寛文二三年庚申七月十九日生于武列

白眉元祿七年庚申七月十九日死江府葬于

相刻茂沢清海寺法在在聖院其河法源隆

正虎

信守

後正仲為村和家相續

後季

海後

當時海田坊序正教家

女子

名通

貞成又為名來仲祐室

女子

實河村善七女藤原正俊為妻實河村善七

享保七之寅年六月十日死于武列江府

葬于淺草海禪寺法名定持院昌室常榮

女子

名善和

河越遠江藤原正房室後藤

實河村上野分純正信女實河村上野分純正信

丹波女

正良

丹波女貞成

三水

實文之癸卯年生于信列院四月五日

元禄八年庚申六月廿七日死于新列院

葬于淺草金亮寺法名宗隆院松堂順榮

貞頼

貞享三己丑年正月七日生于良江府

正徳九年壬申二月四日死于江府葬于

淺草日輪寺法名鎮心院解阿陽多處切

正亮

正亮者長治國後中家後...

女子

右揚

丹桂平洋...

貞享元申子年正月廿六日生...

正徳

改次郎 丹家如

元禄元戌辰年六月廿七日...

正亮

正亮

實能者正復...

室永井由變書大正高女

寛文二癸卯年七月十九日生年氏以有

享保十三年申年十二月在京都城

修月同十日己酉年春返了御二月廿二日

母氏在深山因二月廿二日葬江府法

弟日痛在法石在法院湯山照連

正奥

織物

母永井由變書大正高女

元禄元年戌年十一月八日生年氏以有

同八月亥年二月八日死于江府葬于

法石日梅寺法石寺春院云山清寺

佛部

舟羽

元禄二年壬午年六月十三日生年氏以有

同八月亥年二月十七日死于江府葬于

湯湯藤律院法石明窓不珠

女子

右藤

大德寺源盛任室 後藤

實地田中赤子 紀正德任室 正虎為養女

丹波倉阿波守源重卿女

元祿八年乙亥年二月十八日生于丹波國

室曆七月己未年六月廿九日死于京都藤子

淺草日輪寺法名富恩院 是歲卒 享年五十九

正村

市十郎

丹波女 是歲卒 享年五十九

其

法名

丹波女

元祿十二年卯年七月廿九日生于京都藤子

室永六己丑年二月廿九日死于京都藤子

法名日輪寺法名梅光院 是歲卒 享年五十九

元祿十三年辰年八月二十日生于相模山形

因十八年壬午年二月十三日死于山形藤子

因別光明寺法名玄照院 是歲卒 享年五十九

正直

楊修

宋楊回之弟也紀正休身

丹坂舍佛波子深重卿女

元祿二己巳年四月廿七日生年

室取六己巳年四月十九日經年正虎為

養子享隆二丁亥年八月九日死于家

葬于清和寺今刻寺法堂正明院額與真圖

正春

肉兒

正虎嫡孫五祖

女子

名千代

丹家女

享隆元丙申年十月廿二日生年即正春

因奉之月廿二日死于江府葬于清和寺

金藏寺法右溪台院眩病初埋

正亮

左邊

正亮為右邊男

正春

正春

月記

實攝庵子二道男

祖父信守正亮為嫡孫長祖

丹家女

正德乙未年正月十五日壬午生於丹家白房
享德十六年庚申二月九日死於江府藤子
讀系日編寺法名青菴院禪師湯茶定心

正亮

正亮

相撰

實攝庵子二道男

丹家女藤氏

室松平朝中寺澤定儀女

正德二壬辰年正月廿七日相列山秋
室曆十一辛巳年二月八日死於丹家白房
葬於讀系日編寺法名青雲院陸門
松山溪惟心

女子

名園

神原右京左衛門源次女

母家女

享保二年乙卯奉旨月三日生氏良家

女子

名坤

戸田末女長友京氏良家

母家女

元文元年丙辰奉旨七月廿三日生氏相列山家

女子

名秀

母家女

元文二年丁巳奉旨正月十九日生氏相列山家

享保二年丁卯奉旨二月十二日生氏良家

蔡子清系人金藏子法右法雲院融岳妙範

正定

母家女

母家女

元文二年己未十月廿二日生氏相列山家

寛保元年辛酉年十一月廿七日為嫡子延享三
乙丑年二月二十日死于武列伊府葬于丁
濱糸日輪寺法在清諦院枕阿高真芳親

女子

名幸
松平之辰以源忠延室後難辨

元文三戌年三月廿七日生于相列山歿
明和丁亥年四月廿九日死于武列伊府葬于
濱糸日輪寺法在光定院明一照基自院

某

幸之臣

丹羽元

元文己未年十月十七日生于武列伊府
寶原之矣元年十二月廿五日死于江府葬于
濱糸金藏寺法在幼光院仁憲了智

女子

名桂

松平之辰以源忠延室

丹家女

元文己未年十二月廿三日生于武列伊府

明和元年亥年正月廿三日死于江府藤子
麻布教善寺法以宗相院法儀公具堂仁貞

正春

孝淑節

母家女

寛保元年酉年正月朔日生于相列山秋
延享二己丑年七月廿九日為嫡子宝曆三
癸酉年十月十七日有疾退身因甲戌年
三月七日移于總云法倉門中一書己丑五月

二日死于法倉藥口不履南寺法在速天院
不遇古山性旭

某

長助

母家女河田氏

延享元甲子年八月二十日生于河列江府
同云丙寅年六月晦日死于江府善寺法儀
月庵寺法名光福院明河真月順性

次

正順

大藏寺僧

母長助

室村平澄波子源賴朝女

延享二乙丑年九月廿九日生子武烈

室曆之妻西条年十月廿七日生子為嫡子

右喜多

大久保勘吉友系忠喜室

丹長脚

寶慶二丙寅年十月廿七日生子武烈

室曆十庚辰年十一月十二日生子武烈

女子

伊豫守藤原正右嫡子普光子正圓

正圓死明和六己丑年十一月廿八日再嫁

出城子忠喜

赤久松

丹家女

正道

室曆之三申年五月廿四日生子武烈

日本三壬未年四月十二日生子武烈

清和天皇御孫法石隨從院智雲道性

女子

名房

同姓養子 友系 詮直室

母家

室曆六丁酉子年四月七日生 氏刻以房

明和七 庚寅年八月七日結婚 詮直

淡路守 藤原氏養女 永光 庚辰年

正月七日 結婚 離別 天明元 壬午年

正月六日 再嫁 若狭守 詮直 同庚子

十月 死于 江府 葬于 花岡 九月

法名 祥雲院 諡 公 祿 霜 良 顯

女子

名千舞

如左 攝子 友系 通揚室 諡 良 顯

母家

室曆七丁丑年十一月廿九日生 氏刻以房

女 永三 申午年十一月廿日 死于 江府 葬于

淡路守 金藏 法名 漫 地 院 名 顯 妙 峯

東

辰之節

母家女

宝曆十庚辰年三月二十日
巳未年二月廿七日
寅日臨幸法名隨合院附至玄寬

女子

若光

尚長門守清高為室

母家女

正時

大悟

母家女

宝曆十辛巳年九月二十日
生於河内府

女子

名酒

依井右衛門左衛門源義和室

母家女

明和五廿子年十月廿三日生年氏列

江戸府

女子

名百合

母家女

明和八年卯年四月廿三日生年氏列

名永江己 永美月廿八日生年氏列
濱田日梅手法右清右院膳一室
葵英

女子

名八十

有馬上總外源相居室

母家女

安永三申年辛酉月廿九日生年氏列

江戸府

正切

相摸

室戸回定女 正夜系我教妻

丹波女

安永八丁亥 辛酉月十二日生于氏列家

寛政七丁卯 辛酉月七日為嫡子

末

無以節

丹波女

寛政八丁酉 辛酉月廿三日生于氏列家

同十戊午 辛酉月廿三日生于京邸葬于
氏列江府清原日輪寺法石玄曉院
津町清心堂夏

右一通沙在公上

五

Handwritten text in vertical columns, likely bleed-through from the reverse side of the page.

Handwritten text in vertical columns, likely bleed-through from the reverse side of the page.

Handwritten text in vertical columns, likely bleed-through from the reverse side of the page.

